

# 平成 30 年度 自己評価

医療法人社団 慈恵会 神戸総合医療専門学校

## 評価項目の達成及び取組状況

### 1. 教育理念・目標

評価項目	判定				備考
	4	③	2	1	
学校の教育理念・教育目的・育成人材像は定められているか	4	③	2	1	学校の理念や教育目標は学生便覧に掲載されているが、学校案内パンフレットやホームページ等での外部への周知は不十分である。
学校における職業教育の特色は何か、明確になっているか	4	③	2	1	人間性や社会性、倫理性を備え、患者や家族を支援することができる医療従事者になるための教育を行っている。そのため、多くの学生には本校の職業教育の特色は伝わっているが、一部の学生には伝わっていない一面もある。
社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	③	2	1	今後、加速していく少子高齢化に備え、教育内容の向上を図り、さらに、地域社会との密接な連携を目指している。
学校の教育理念・教育目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	3	②	1	学生便覧には掲載しており、在校生への周知はしているが、アンケート調査を実施していないため、どれだけ周知できていたかは不明である。また、保護者等への説明は不十分である。
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等の対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	③	2	1	各学科と関連業界との情報交換や交流は、年間を通じて積極的に行っており、将来的な各業界に対するニーズに対する理解は深まっている。今後はさらに、卒業生が各業界のニーズにも応えられるように、各学科のディプロマポリシーの策定が必要である。

適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

#### 1) 課題

理念や教育目標等は学生便覧に掲載しているのが在校生へは周知できていると思われるが、調査を行っていなかったため、明確に伝わっていたかどうかは不明である。また、保護者等へは十分周知できていない。

#### 2) 今後の改善方策

学校の理念や教育目標等が、在校生に対してどれだけ周知されているか調査を行い、周知状況の確認が必要である。また、学校案内やホームページでも明確に公表することで、保護者等にも周知徹底を図る。

#### 3) 特記事項

なし

## 2. 学校運営

評価項目	判定				備考
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	③	2	1	地域医療の発展に寄与し、患者や家族を全人的に支援することができる医療従事者を育成するという目的を達成するために、地域の病院や福祉施設等との連携を推進し、より実践的な教育を目指した運営方針が策定されている。
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	3	②	1	運営方針に沿った事業計画が策定されるべきであるが、周知されておらず、不明瞭である。
運営組織や意思決定機関(会議や委員会等)は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか	4	③	2	1	運営組織や意思決定機関として、運営会議を設置している。さらに、各分野の委員会を設置・開催し、問題点の改善や提案事項などを検討している。
人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	3	②	1	就業規則に定められているが、不明瞭な点がある。
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	③	2	1	地域自治会への積極的な参加や、市民講座を開催し、業界や地域社会へのコンプライアンス体制が整備されつつある。
学校運営組織に外部人材が理事等として参画しているか	4	3	2	①	外部人材が理事等として学校運営組織に参画していない。
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	3	②	1	教育活動等を学校ホームページで情報公開しているが、不十分である。
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	②	1	学校内情報システムのネットワークが整備され、業務の効率化が図られつつあるが、不十分などところも多い。

適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

### 1) 課題

学校外部の人材を加え、事業計画を策定し、教職員へ周知徹底を図る必要がある。さらに、ホームページを充実させ、情報公開を進めていく必要がある。
---

### 2) 今後の改善方策

外部人材を理事等へ加える。中・長期の事業計画を策定し、教職員へ周知する。入試広報係および広報入試委員会でホームページを充実させる。
---

### 3) 特記事項

なし
----

### 3. 教育活動

評価項目	判定				備考
教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	③	2	1	本校の教育理念に基づき、各学科で教育課程を編成して実施しているが、方針として定められているものはない。
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	③	2	1	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育到達目標はあるものの、各学科のディプロマポリシーは策定されていない。
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	③	2	1	指定規則に基づき体系的なカリキュラム編成は行えているが、見直しがされていない学科もある。
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが計画・実施され、シラバス等にも明示されているか	4	③	2	1	実践的な職業教育は行えているが、キャリア教育を実施している学科とそうでない学科がある。
授業評価の実施・評価体制はあるか	4	③	2	1	終講時にすべての科目で授業評価アンケートを実施し、結果を集計している。しかし、その結果の活用がうまくできていない。
職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	②	1	外部評価を受けている学科もあるが、受けていない学科もある。
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確であり、GPA等の客観的指標が取り入れられているか	4	③	2	1	学則及び規則で成績評価、単位認定、進級判定、卒業判定の基準は明確にされているが、GPAは取り入れていない。
人材育成目標の達成に向けた授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	③	2	1	指定規則に定められている専任教員資格要件を備えた教員を、必要数確保できている。専任教員では教授困難な科目については、非常勤講師に依頼している。
実務経験のある教員を一定数確保しているか	④	3	2	1	指定規則で定められている専任教員資格要件を満たしている教員は、確保できている。
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務を含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4	③	2	1	関連業界と連携し、学生に教授すべき内容について実践的な知識と技術をもった者に講義を依頼したり、施設見学を行うなどのマネジメントができている教員もいる。
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	3	②	1	教員は、必要に応じ学会や研修会等に参加し、自己研鑽しているが、個人差がある。
教職員の能力開発のための研修等が行われているか(教員の臨床研修を含む)	4	③	2	1	教員研修会を年6回開催した。希望すれば臨床研修は可能だが、全員希望しているわけではない。

適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

### 1) 課題

教育課程の編成・実施方針、学科のディプロマポリシーが策定されていない。カリキュラム編成については、実行後の成果を確認し、改善していく仕組みを構築する必要がある。教員の資質向上のため教員研修を行っているが、専門分野の知識・技術向上は自己研鑽に頼っている部分が多い。

### 2) 今後の改善方策

視能訓練士科、言語聴覚士科、臨床工学科、臨床工学専攻科のカリキュラム変更が終了し、2020年度は理学療法士科と作業療法士科が、2021年度は診療放射線科がカリキュラムを変更する予定である。カリキュラム変更後は自己評価・外部評価を参考にしながら成果を検証し、定期的にかリキュラムを見直す仕組みづくりを行う。また、2019年度からGPAを取り入れ、学生指導に活用する。教職員研修について、2019年度も年間計画を立てて実施していく。

### 3) 特記事項

なし

#### 4. 学修成果

評価項目	判定				備考
	4	③	2	1	
就職率の向上が図られているか	4	③	2	1	求人票を閲覧できるよう公開し、学生が希望する就職先の相談や指導を行っている。就職率が100%の学科が多いが、そうでない学科もある。
資格取得率の向上が図られているか	4	③	2	1	資格取得にむけ補習や補講に取り組んでいる。資格取得率は100%もしくは全国平均を上回っている学科が多いが、今年度はそうでない学科もあった。
退学率の低減が図られているか	4	③	2	1	担任が定期的に個別面談を実施し、学生生活を把握するようにしているが、退学を決断したあとの報告が多い。
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	③	2	1	各学科で在校生のボランティアなどの参加率が異なる。参加している学生については支援し、ボランティア先から評価をいただいている。
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	3	②	1	把握している学科もあるが、情報交換や教育活動には十分生かしていない。

適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

##### 1) 課題

就職についてアンケートを実施し必要に応じて個別に対応しているが、学生の希望と就職先をさらにマッチングすることが必要である。  
 資格取得率向上・退学率軽減にむけ、成績不振の学生に対し早期の相談や、補講の内容・回数などを再検討することが必要である。  
 卒業生に向けたリカレント教育も必要である。

##### 2) 今後の改善方策

本校作成の就職の手引きの見直しや面接の練習・アドバイスなど、すべての学生に対応していく。  
 学内での対策スケジュールはもちろん自宅での学習方法など計画的に指導を実施し、資格取得率の向上を目指す。  
 学習意欲を高められるよう目標を設定していき、最終的に資格を取得し就職できる体制をつくる。また、担任や職員などに相談しやすい環境をつくり退学率を低減していく。  
 卒業生が卒業後も学校を訪れやすい環境整備をつくる。

##### 3) 特記事項

就職については、学科の職業の特徴があるため、求人倍率にかなりの差がある。

## 5. 学生支援

評価項目	判定				備考
	4	③	2	1	
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	③	2	1	全学生対象の面接指導等の講習会を実施している。
学生相談に関する体制は整備されているか	4	③	2	1	クラス担任を通じた相談、心理カウンセラーを通じた相談等、複数の相談窓口を整備している。
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	③	2	1	学校独自の入学時諸経費奨学金（貸与型）、給付型奨学金の制度がある。経済状況に応じた学納金分納の相談にも応じている。
学生の健康管理を担う体制はあるか	4	③	2	1	定期的な健康診断を実施し、常勤看護師による衛生管理、健康管理を行っている。保健委員会を中心とし安全衛生指導を徹底している。
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	③	2	1	他学科の学生と、もっと交流したいという学生の意見を受けて、学生団体活動が整備されつつある。
学生の生活環境への支援は行われているか	4	③	2	1	定期的な面談を行い、遠隔地から入学した学生の生活面を把握し、問題があれば支援している。
保護者と適切に連携しているか	4	③	2	1	入学後の保護者説明会を行っている学科もある。また、成績状況に応じた適宜の保護者面談等を通じて、保護者との連携を重視している。
卒業生への支援体制はあるか	4	③	2	1	卒業生を対象に勉強会を行っている。ホームカミングデイを実施し、在校生と卒業生との交流を深めている。卒業生に対して就職や転職の情報を提供し、卒業後の支援にも努めている。
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	③	2	1	2 学科においては専門実践教育訓練給付金制度の指定を受けている。また、自家用車での通学を認めている。
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	③	2	1	高校でのガイダンス授業に加え、要望があれば正規の時間割での出前授業も実施している。

適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

### 1) 課題

<p>他学科の学生との交流を深めるため、課外活動をさらに支援していく必要がある。</p> <p>ホームカミングデイは、より多くの卒業生・在校生に参加してもらえるように、開催日時や内容を検討する必要がある。</p> <p>専門実践教育訓練給付金制度の指定をどの学科も受けられるよう対策を検討する。</p>
---

## 2) 今後の改善方策

運動会の他、球技大会やバーベキューなど学生の希望に沿った催しを計画する。  
2018 年度より実施のホームカミングデイを卒業生・在校生にとってさらに有益なものにするため、就職支援委員会を中心に内容の充実を検討する。

## 3) 特記事項

なし

## 6. 教育環境

評価項目	判定				備考
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	②	1	指定規則に必要な施設・設備が整備されているが、備品の一部には老朽化しているものも存在している。
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	②	1	学外実習は法令で定められている時間数を実施し、実習施設も充実している。現在はインターンシップ、海外研修等の教育体制は整備されていない。
防災に対する体制は整備されているか	4	③	2	1	防災に対してはマニュアルの整備、役割分担、学生への情報提供など体制の設備はされている。AEDや備蓄水などの緊急時における備品も準備されている。

適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

### 1) 課題

学生にとって有益な教育体制を今後検討する必要がある。
----------------------------

### 2) 今後の改善方策

施設・設備の整備は、備品管理委員会が中心となり、老朽化されている備品について安全点検を行う必要がある。 非常時に防災マニュアルが活かされるよう、セキュリティ委員会を中心に学生に啓発を行う。
---

### 3) 特記事項

なし
----

## 7. 学生の受け入れ募集

評価項目	判定				備考
学生の募集活動は、適正に行われているか	4	③	2	1	募集内容は情報開示している。高校生については10月から入試を行っている。
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	③	2	1	学生募集活動において、卒業生の就職率、資格試験の合格率など正確に伝えられている。
学納金は妥当なものとなっているか	4	③	2	1	本校の学納金は、同分野の他の学校の平均的な水準と同様である。

適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

### 1) 課題

学生の募集活動について高等学校訪問やガイダンスなどに参加しているが、成果に結びついていない学科もある。受験生や保護者に職業理解を深めてもらい、受験につながるような工夫が必要である。社会人の募集活動として社会人相談会を開催しているが、参加率が少ないため、開催日や会場などを検討する必要がある。

### 2) 今後の改善方策

高等学校へ教職員が訪問しているが、さらに本校の特色を詳しく紹介し各学科の情報を発信していくようにする。社会人の募集活動方法について再検討していく。  
オープンキャンパスにおいても、複数の学科を回ってもらえるような工夫をする。  
入試制度についても検討し、募集活動に成果がでるようにする。

### 3) 特記事項

なし

## 8. 財務

評価項目	判定				備考
	4	3	②	1	
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	②	1	学生の確保が安定的な財務基盤であり、少子化へ向けての課題となる。
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	③	2	1	固定費・修繕費の増加が今後の課題となる。
財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1	外部監事及び税理士による監査が毎年行われている。
財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1	法人として公開している。

適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

### 1) 課題

固定費の上昇と安定的な学生数の確保、水道光熱費の軽減を図る必要がある。

### 2) 今後の改善方策

老朽化した設備の更進により、省エネ化や合理化することにより経費の軽減を推し進めたい。

### 3) 特記事項

なし

### 9. 法令等の遵守

評価項目	判定				備考
	4	③	2	1	
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	③	2	1	設置基準に準じた人員・設備を配置している。
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	③	2	1	個人情報に留意した規定等を作成し、周知している。
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	3	②	1	自己評価を行う準備を進めている段階である。
自己評価結果を公開しているか	4	3	②	1	自己評価実施後、公開できるように準備を進めている。

適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

#### 1) 課題

第三者評価を受けている学科もあるが、学校としての評価は実施していない。早急に学校評価を実施する必要がある。また、評価結果を公開するための準備が必要である。

#### 2) 今後の改善方策

現在、自己評価を実施している。今後、学校関係者評価、第三者評価も実施していく。また、評価結果を公開するためのマニュアルを作成する。

#### 3) 特記事項

なし

## 10. 社会貢献・地域貢献

評価項目	判定				備考
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	③	2	1	公開講座を行い、体験学習等も取り入れている。トライやるウィークの受け入れにも積極的に取り組んでいる。また各専門職の研修会等に会場を提供している。
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	③	2	1	掲示等により全学生対象に募集を行っているほか、各学科でも関係領域のボランティア活動を紹介したり、教員とともに参加したりしている。
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	③	2	1	公開講座を実施している。また社会活動への人的派遣も行っている。

適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

### 1) 課題

オープンキャンパスに加え地域貢献として2018年度から公開講座を始めたが、地域住民にさらに参加してもらえるようにプログラム内容を充実させる必要がある。

### 2) 今後の改善方策

公開講座の際に体験コーナーを設け、コメディカルの仕事についての理解を深めてもらうことで、地域に根差した学校づくりを行う。  
 近隣大学と共同による研究を行い、広く社会に寄与していく。  
 教職員の専門性を生かし、行政のほか各種関連団体からの要請に基づいて積極的に人的派遣を行う。

### 3) 特記事項

なし